



営業トラックの交通事故発生状況 令和6年中

1 発生状況

令和6年中の営業トラック（事業用貨物自動車）が第1当事者となった人身交通事故は、前年と比較して、発生件数及び負傷者数は減少しました。

なお、死亡事故は5件5人発生し、+2件±0人となりました。

【営業トラックの交通事故発生状況】

(令和6年中)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	119	5	5	12	136	148
前年	129	3	5	15	157	172
増減	-10	2	0	-3	-21	-24
率	-7.8	66.7	0.0	-20.0	-13.4	-14.0

【営業トラックの交通死亡事故発生状況】

(令和6年中)

No.	発生日月時等							第1当事者(営トラ)		死者				
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候	発生場所	路線	事故類型	高齢者	車種	状態	高齢者
1	6	1	17	6	水	夜	晴	仙台市青葉区作並	国道	四輪対軽車両	—	大貨	軽車両	◎
2	6	1	17	22	水	夜	晴	仙台市宮城野区扇町	市道	四輪対二輪	—	中貨	二輪車	—
3	6	4	23	9	火	昼	曇	塩竈市東玉川町	県道	四輪対自転車	—	大貨	自転車	◎
4	6	6	27	6	木	昼	晴	仙台市若林区古城	国道	人対四輪	—	大貨	歩行者	◎
5	6	10	20	21	日	夜	晴	仙台市若林区卸町	国道	四輪対二輪	—	大貨	二輪車	—

2 発生推移 (基礎データ平成27年～令和6年)

発生件数は緩やかな減少傾向となっており、令和6年は、記録の残る昭和46年以降最少となり、ピーク時（平成16年。564件）の約2割（21.1%）まで減少しました。

死者数については、平成27年以降は一桁台で増減を繰り返し、令和6年は5人（前年比±0人）でした。



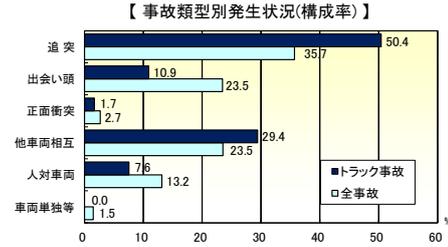
区分	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年
死者数	4	6	4	4	3	5	5	1	5	5
発生件数	260	223	213	201	181	171	178	156	129	119
営業トラック台数	22,828	23,185	23,508	23,791	24,059	24,353	24,410	24,146	24,030	—
100台当たりの件数	1.1	1.0	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.5	—

※営業トラック台数：東北運輸局資料

3 営業トラック事故の発生傾向等 (令和6年中)

(1) 追突事故が多い

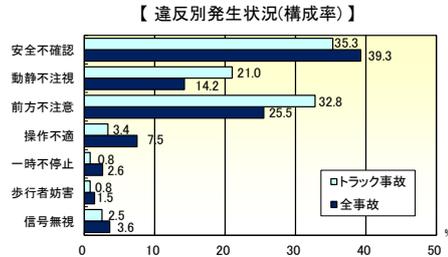
事故類型別では、追突事故の発生が多く、約5割(119件中60件、50.4%)を占めており、全事故の構成率(3,785件中1,351件、35.7%)より14.7ポイント高くなりました。



(2) 安全不確認、前方不注意による事故が多い

違反別では、安全不確認による事故が最も多く(119件中42件、35.3%)、次いで前方不注意による事故(39件、32.8%)が多くなりました。

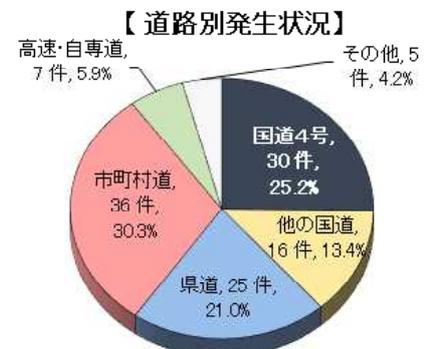
全事故と比較すると、動静不注意、前方不注意の割合が高くなりました。



(3) 国道での発生が多い

道路別では、国道での発生が約4割(119件中46件、38.6%)で最も多くなりました。

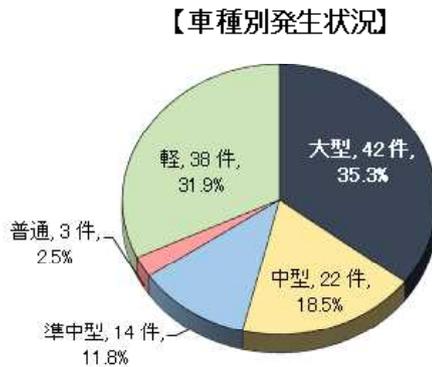
また、全体の約3割(30件、25.2%)が国道4号で発生しました。



(4) 大型車の事故が多い

車種別では、大型車が約4割(119件中42件、35.3%)を占めて最も多くなりました。

前年と比較すると、大型車は-5件、中型車は-1件、準中型車は-2件、普通車が+1件、軽自動車は-3件となりました。



(5) 日中の発生が多い

時間別では、9時台の発生が11件で最も多く、昼夜別では約7割(119件中86件、72.3%)が昼に発生しました。

曜日別では、各曜日12~20件発生しており、木曜日がやや少ないことを除けば、土日、平日共に同水準で発生しました。

